



(総合建設業の企業で現場監督として勤務)



Q1. 現在働いている業種・業界に興味を持った理由は？

父親が建築に関する仕事に携わっており、幼い頃からモノ作りに興味がありました。小学校の頃はブロック遊びが好きだったり、父に教えてもらいながら自分で木材を加工して椅子を作ったりもしていました。高校進学の際、工業高校を選んだのもそのためです。モノづくりの中でも建設業は、何も無い所から徐々に作り上げていき、完成していくという過程が面白そうだと思います。

また、私は体を動かすことが好きなので、座って仕事をするより、現場で作業などをする方が自分に向いていると思ったので、建設業の会社に入社しました。

Q2. 現在従事している仕事内容は？

ある企業の店舗の建設現場監督として、職人さんたちと協力して仕事を進め、出来ていく建物が図面通りとなっているかをチェックしています。例えば、建物の基礎となるコンクリート打設の時期には、毎日、高さや位置に間違いがないかを測量し確認しました。

また、現場での作業工程の管理も重要な仕事で、作業前の様子と仕上がりの様子、使っている資材等を記録として残すために、現場で写真に収め、さらに事務所に戻ってからそれらを整理して、作業内容が分かるように説明を入れて文書としてまとめていく作業を行っています。

現在の工程では、引き渡し前の最終段階に来ているため、現場の掃除や後片付けなど軽微な作業のお手伝いもしています。

Q3. 現在の仕事の魅力、やりがいは？

現在の建設現場が、私にとって初めて現場監督として携わった仕事になるため、建設作業が進んでいき、足場が解体されて建物の全体像が自分の目で見えた時には、とてもうれしく達成感を感じました。

また、現場監督は現場で作業を行う職人さんの、様々な職種の技能を見て知ることができるのが楽しみです。現場監督としてすべての職種を知ることが必要なため、とても勉強にもなります。

Q4. 職場の雰囲気、働く環境は？

建設業というと男性が多いイメージがあると思いますが、職場の環境面では女性用トイレや更衣室も準備してあります。私は女性なので、周りの男性から気を遣っていただくことも多く、重たい荷物を代わりに持っていただくなど、とても優しく接してもらっています。現場は明るい雰囲気、みんな仲良く協力して仕事をしています。

私の勤める会社には、年齢の近い先輩社員がいます。先輩からはいろいろなことを教えてもらい、仕事の悩み相談にも乗ってくれます。また、現場の職人さんは私から見ると父親くらいの年齢の方ばかりですが、私自身が話好きということもあり、温かくコミュニケーションを取っていただいています。

Q5. 仕事で求められる力や、身に付けておいて欲しいことは？

私は工業高校の出身なので、授業や実習で学んだCADや表計算などのコンピューターのソフトウェアを扱う知識や、「トランシット」や「レベル」といった測定の基礎が身に付いていて、とても役立っています。工業高校で学んでいる高校生で、建設業を希望する人は、ぜひしっかりと勉強して習得してください。

仕事の技能以外では、多くの方々と(中には年の離れた人とも)協力して、よりよいモノを作っていくことになるので、コミュニケーション能力は必要です。老若男女問わず、誰とでも話ができることが大切だと思います。

Q6. これから進路を考える高校生に向けて、業界のPRや就職に関するアドバイスを！

体を動かすことが好きな人、外での仕事が向いていると思う人はぜひ建設業を考えてみてください。建設業は自分の手で作ったモノが地図に残る仕事です。最近はインターネットで見ることができ、地図が随時更新されていて、新しく建った建物などもすぐに反映されるので、自分の作った建物が地図に載ることにとってもやりがいを感じます。また、実際に建物の近くを通るたびに、「自分が作ったんだ」と仕事に対するの誇りを感じることが出来ます。あと、発注元のお客様から現場で直接励ましの言葉をいただいたり、お礼の言葉をかけていただいたりした時もとてもうれしく感じ、仕事へのモチベーションが上がります。